

平成 19 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 1 日の間に川崎医科大学附属病院
で心原性脳塞栓症・非弁膜症性心房細動患者と診断され、経食道心臓超音波
検査を受けた患者さんへのお知らせ

課題名：心原性脳塞栓症・非弁膜症性心房細動患者における左心房内もや

エコーと予後の関連について

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、平成 19 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 1 日の間に、当院において心原性脳塞栓症・非弁膜症性心房細動患者と診断され、経食道心臓超音波検査を受けた患者さんについて左心房内もやエコーが予後不良に関連するか後方視的調査研究を実施します。左心房内にもやもやしたエコーがあると、心臓内に血栓ができやすいと報告されています。しかしそれが脳梗塞患者さんの予後に関連するのかわかりません。今回の研究は心原性脳塞栓症で入院された患者さんで、左心房内もやエコーの有無が機能不良に関連するかを検討することを目的としています。研究期間は、倫理委員会承認日～平成 29 年 7 月 31 日の予定です。研究成果は脳神経超音波学会で発表を予定しています。治療介入を伴わない既存資料（入院時の血液検査・心エコー検査・MRI 検査結果等）のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。本研究を運営するために必要な事務的経費は研究責任者の教員研究費を用いて遂行します。この研究課題を実施する関係者には大塚製薬（株）、バイエル薬品（株）、第一三共（株）、サノフィ（株）、アステラス製薬（株）、武田薬品工業（株）、塩野義製薬（株）より奨学寄附金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業です。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

担当者：所属 川崎医科大学附属病院 脳卒中科 医長 城本高志

岡山県倉敷市松島 577

TEL：086-462-1111（内線 27505）

FAX：086-464-1128

E-mail：stroke@med.kawasaki-m.ac.jp

研究責任者：所属 脳卒中科 職名 医長 氏名 城本高志